教育関連記事

エデュサン edu sun

10

2026 / No.131



ニューヨークで企業連携型キャリア教育を体験する金沢泉丘高校の生徒たち。現地企業の社員との対話を通じ、多様な価値観や将来の可能性に触れた（写真提供：NY de Volunteer）

発行／ DAILYSUN NEW YORK LLC　1270 Avenue of the Americas, 7th Floor, New York, NY 10020
TEL：929-946-0182　WEB：www.dailysunny.com　E-MAIL：info@dailysunny.com

エデュサン
edu sun INDEX

1. 教育レポート

◆ 金沢泉丘高校の生徒 41 名が企業連携型キャリア教育を体験
NY de Volunteer

◆ 見て、やってみて、見せ合う　幼児部の「日本文化デー」
NY 育英学園インターナショナルスクール

2. NY 教育関連ニュース

◆ コーネル大学の性暴力疑惑、なぜ 2 年後に再捜査へ？ 学生新聞と SNS で事態動く

◆ NY 市の公立校「3 人に 1 人」が長期欠席、なぜ学校に行けない？ 日本の “ 不登校 ” 対策との違い

◆ 2027 年版「アメリカ大学ランキング」発表、ハーバード大は 5 位に　全米 738 校の頂点に立ったのは？

◆ 算数は「解き方」を先に教えるべき？ NY 州で教育論争、日本の教え方との違いは



エデュサン
edu sun

1. 教育レポート

EDUCATION REPORT

ニューヨークで育む「自分らしさ」とグローバルな視野

―金沢泉丘高校の生徒 41 名が企業連携型キャリア教育を体験―

NY de Volunteer　　2026. 10. 9

2026 年 10 月 9 日、ニューヨークを拠点とする非営利団体 NY de Volunteer は、石川県立金沢泉丘高等学校スーパーグローバル（SG）コースの生徒 41 名を対象に、IT コンサルティング企業アバナードの協力のもと、グローバルキャリア教育プログラムを実施しました。

本プログラムの目的は、海外企業で「リアルなグローバル」を体感し、英語による実践的なコミュニケーション力を育成するとともに、多様な価値観に触れグローバルな視点で将来の可能性を考えることです。生徒たちは、異なるバックグラウンドを持つ社員との対話やロールモデル講演を通じて、自分らしさを受け入れること、失敗を恐れず挑戦すること、異文化の中で他者と協働することの大切さを学びました。

また、日本で調査した AI を活用した学習管理や環境問題、多文化共生などのテーマについて、8 グループに分かれて英語で発表。社員からの質問にも仲間と協力して応答し、英語を使って自分たちの考えを伝え、対話を通じて深める経験をしました。さらに、自分の好きなことや強み、将来の夢を整理し、英語で自己紹介するワークショップにも挑戦しました。

参加した生徒からは、「完璧な英語でなくても、積極的にコミュニケーションを取ることが重要だと学んだ」「自分の個性を自分で認めて、生かすことの大切さに気づいた」「海外で働くという漠然とした夢が、現実的な目標となった」といった声が寄せられました。

多様な人々との出会いを通じて視野を広げ、自分自身を見つめ直すことは、将来の進路を考えるうえで大きな一歩と なります。NY de Volunteer は今後も企業や教育機関と連携し、若者がグローバルな視点で社会や自分の未来を考える体験型の学びを創出していきます。（情報・写真提供：NY de Volunteer）

NY de Volunteer について

市民の社会参加・ボランティア活動の推進とグローバルリーダー育成を通して、社会課題の解決に向けて自ら考え行動する「チェンジメーカー」を育てることを目的に、2003 年からニューヨークで活動している 501(c)(3) 認定の非営利団体です。（ウェブサイト : https://www.nydv.org/home）



「多様性」をテーマにしたパネルディスカッション



生徒によるプレゼンテーションの様子

見て、やってみて、見せ合う
幼児部の「日本文化デー」

NY 育英学園インターナショナルスクール　2026. 10.19

ニュージャージー州イングルウッドクリフスにあるニューヨーク育英学園インターナショナルスクール幼児部では、10 月 19 日に「日本文化デー」を開催しました。年少から年長までの園児 40 人が、生け花、阿波踊り、和太鼓を体験。講師の表現を見る、自分でやってみる、友だちと見せ合う、という学びの流れを大切にしました。

生け花では、講師の鳥巣さんの作品を鑑賞した後、一人ひとりが花を生けました。阿波踊りでは、松田さんと銭谷さんの踊りを見て、浴衣や甚平、法被姿で男踊りに挑戦。和太鼓では、倉島さんの演奏を間近で聴いた後、自らバチを握り、体に響く音を感じました。

異なる表現に触れることの意味

三つの活動を選んだのには理由があります。「静」の生け花、「動」の阿波踊り、「音とリズム」の和太鼓。異なる表現を体験することで、自分の好きな表現を見つけるとともに、友だちの異なる表現にも目を向け、その違いを認め合う心を育みたいと考えました。各活動の最後に、互いの表現を見せ合う時間を設けたのもそのためです。

子どもたちからは「生け花のお花が綺麗だった」「和太鼓の音が大きくてびっくりした」といった声が聞かれました。阿波踊りの掛け声も印象に残ったようで、活動後も園内のあちこちから元気な掛け声が響いていました。

海外で育つ子どもたちと日本文化

日本文化とのつながりは、日本語を学ぶことだけで育まれるものではありません。花の美しさを感じ、踊る楽しさを知り、太鼓の響きに驚く。こうした五感を通じた体験も、日本の文化や伝統に親しむ大切な機会です。

これまで一部の子どもに限られていた文化体験を、今年度から通常の教育課程に組み込み、全園児が参加できるようにしました。体験前の説明や体験後の振り返りを通じて、一日の経験を日々の学びにもつなげていきます。

日本文化を単に知識として学ぶのではなく、自ら感じ、考え、表現すること。そして、友だちとその喜びを分かち合うこと。今回の体験が、子どもたちの感性を豊かにし、日本文化への関心を深めるきっかけになればと願っています。　（情報・写真提供：ニューヨーク育英学園）



お花を生ける年少さん



阿波踊りの発表



edu sun エデュサン

2. NY 教育関連ニュース

NEW YORK EDUCATION NEWS



性暴力事件が起きたとされる Cornell University の学生社交団体 Chi Phi の建物 (photo: @CNN News 18 の YouTube チャンネルからスクリーンショット)

コーネル大学の性暴力疑惑、なぜ 2 年後に再捜査へ？

学生新聞と SNS で事態動く

2026. 10. 5

コーネル大学で 2024 年に起きたとされる性暴力事件が、約 2 年を経て再び注目を集めている。女性の民事訴訟と、その訴えを詳しく伝えた学生新聞「コーネル・デイリー・サン（The Cornell Daily Sun）」の報道をきっかけに、関心が広がった。大学の対応を問う社説や SNS での反響を通じて、議論は学外へと広がり、当初の捜査のあり方も問われている。同紙の報道・社説と、米公共ラジオ NPR、AP 通信の報道をもとに経緯をまとめた。

訴状と女性の声を伝えた学生新聞

女性は、2024 年 10 月に学生の社交団体「カイ・ファイ（Chi Phi）」の建物で、薬物などの影響で同意できない状態のまま、複数の男性から性的暴行を受けたと訴えている。同年 11 月に大学警察に被害を申告し、大学も当時、申告があったことを公表した。しかし、地元検察は起訴しなかった。

今年 9 月、女性は大学や現役・元学生 7 人などを相手に民事訴訟を起こした。長い訴状には法律用語も多く、一般の人には読み解きにくい。学生新聞は 9 月 18 日、訴状に記された経緯やグループチャットの内容を整理し、画像も使って分かりやすく伝えた。女性にも取材し、約 2 年がたっても影響が続いているという声を紹介した。こうした報道が、多くの人がこの問題を知るきっかけとなった。

実名を掲げた社説で大学に説明を求める

同紙は 9 月 21 日、「Cornell Won't, We Will（コーネルがしないなら、私たちがする）」と題した社説を掲載。訴状の被告 7 人の名前を冒頭に並べ、大学が学生の安全を守ったのか、調査や処分について十分に説明したのかを問うた。

続きはウェブへ



長期欠席の背景を把握し、早期の支援につなげることが急がれる。写真はイメージ (photo: Unsplash / Element5 Digital)

NY 市の公立校「3 人に 1 人」が長期欠席

なぜ学校に行けない？ 日本の“不登校”対策との違い

2026. 10. 8

ニューヨーク市の公立校で、小学生から高校生までの児童・生徒の 3 人に 1 人が長期欠席となっていることが、市の最新データで分かった。市教育局は、欠席が続く子どもを早い段階で支援するため、各校に担当者を置く方針だ。ニューヨークポストが報じた。

障害のある児童・生徒は 43%

市の最新データによると、2024 ～ 25 年度に授業日の 10%以上を欠席した児童・生徒は全体の 33%に上った。障害のある児童・生徒では 43%と、さらに高い。長期欠席の背景には、不安やうつなど心の問題があるケースも少なくないという。

家庭と連携し、早めに支援

各校の担当者は、欠席が続く子どもの家庭と連絡を取り、必要に応じて校内のカウンセリングやメンタルヘルス支援などにつなげる。担当者は、教員やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校の管理職などが務める。市教育局は、欠席につながる問題に早めに対応し、子どもの学習と心の健康を支えるとしている。一方、担当者には追加の報酬が支払われないため、教職員の負担増を懸念する声も出ている。

日本の「不登校」と NY 市の「長期欠席」の違い

一方、日本では「不登校」が社会的な課題となっている。不登校とは、心理的な要因などで年間 30 日以上欠席した子どもを指し、病気や経済的な理由による欠席は含まれない。文部科学省によると、2024 年度の小・中学校の不登校児童・生徒は約 35 万 4000 人で、12 年連続で増加した。NY 市の「長期欠席」は、理由を問わず授業日の 10%以上を欠席した場合を指す。

続きはウェブへ



ウォレットハブの 2027 年版米大学総合ランキングで、前年に続き 1 位となったプリンストン大学 (photo: Yuto Takeda)

2027 年版「アメリカ大学ランキング」発表、ハーバード大は 5 位に

全米 738 校の頂点に立ったのは？

2026. 10.14

ニュージャージー州のプリンストン大学（Princeton University）が、金融情報サイト「ウォレットハブ」の 2027 年版米大学総合ランキングで、前年に続き 1 位となった。FOX は、学費の負担や卒業後の収入なども評価したランキングで、同大が首位に立ったと報じた。

738 校を比較、費用や卒業後の成果も評価

調査は全米 738 校を対象に、入学の難しさ、費用と資金援助、教員体制、キャンパスの安全性、学生生活、教育の成果、卒業後の進路・収入の 7 分野、30 項目を比較した。卒業率や教員 1 人当たりの学生数のほか、学生ローンの返済ができなくなった人の割合なども評価に含めている。

プリンストン大、卒業率は 98%

ウォレットハブによると、プリンストン大は教員 1 人当たりの学生数が 5 人で、卒業率は 98％。入学から 10 年後の卒業生の年収の中央値は 11 万ドルを超える。

総合 2 位はマサチューセッツ工科大学（Massachusetts Institute of Technology）、3 位はイェール大学（Yale University）だった。

総合ランキング上位 20 校

1 位　プリンストン大学（Princeton University）

2 位　マサチューセッツ工科大学（Massachusetts Institute of Technology ／ MIT）

続きはウェブへ



写真はイメージ（photo: Unsplash / Nils Huenerfuerst）

算数は「解き方」を先に教えるべき？

NY 州で教育論争、日本の教え方との違いは

2026. 10. 29

算数の問題を解くとき、まず先生が手順を教えるべきか、それとも子ども自身に考えさせるべきか。ニューヨーク州が算数教育の見直しを進める中、教え方をめぐって専門家の意見が分かれている。地元ニュースサイトニューヨーク・フォーカスが報じた。

算数が苦手な子への教え方が争点に

ニューヨーク・フォーカスによると、州内の多くの学校では、子ども自身が考えることを重視した教材が使われている。ただ、学習につまずいている子には、先に手順を丁寧に教えるべきだと指摘する研究者もいる。州の教育当局が示した資料は、手順の意味や理由の理解も重視している。計算の練習と理解を深める活動を、どう組み合わせるかが課題となっている。

2027 年に向け、各学区が授業を点検

州の新法は、キンダーガーテンから小学 5 年生までを対象に、研究などの根拠に基づく算数指導を求めている。州教育当局は 2027 年 1 月 1 日までに指導の指針を示し、各学区は同年 9 月 1 日までに、教育課程や授業が指針に沿っているか確認して報告する。

日本の算数では？

日本の算数も、計算の練習だけを重視しているわけではない。文部科学省の学習指導要領では、基礎的な知識や計算の技能を身につけるとともに、図や式を使って問題を解き、自分の考えを説明し合う活動も重視している。計算する力と、仕組みを理解する力の両方を育てるという目標は共通している。ニューヨーク州で議論になっているのは、そのために何を先に、どう教えるかという点だ。

supported by





edu sun